

# 夢 塾 だ よ り

## ～ 一生勉強・一生修行 ～

(第74号) 令和5年9月22日

先日素敵な言葉に出会いました。「今日でお別れ」「知りたくないの」などの名曲を世に出した、ハンバーグ大好きな歌手の菅原洋一さん(90歳)の言葉です。

『生きるということは人生の修業。だから死ぬということは「もう修業が終わったよ」と、そういうふうには僕は考えています。だからまだ修業が足りないということで、歌わされて生きているんですよ。紅白とかには今は興味がないね。聴いてもらう人に喜んでもらえることがうれしい。僕から歌を取ったら何もなただの人になってしまう。歌うことに生かされています。だからありがたいなという気持ちを忘れずにこれからも、生きていきたいと思いません。』



私は、朝の20～30分を数学の勉強に充てています。修行の身が続きます。毎日新しい発見をします。誰よりも高校数学を見てきて、世の中を数学の論理的思考で考えて来たはずなのに、今だに無知な自分を恥ずかしく思います。ただ、ソクラテス的に言えば「無知の知」(知らないという自分を知っている)という風に解釈できなくもないのですがいずれにしても『道』いまだ半ばです。

先日ある生徒に聞かれました「先生、なぜどんな質問にもすぐに答られるんですか?」……「あなたの1000倍数学を見てきたから」……と生徒はごまかせても自分はごまかせませんから、毎日修行は続きます。

それと並行して、数学の後はピアノが待っています。これは数学より数段むつかしく、一生かけても手に入らない永遠の恋人のようです。ですがある時期に、初の「ピアノリサイタル」をやりたいという気持ちが高ぶってきまして、現在は好きな曲をメドレーで弾く練習をしています。

ベートーヴェンの「悲愴」の2楽章に始まり、シューマンの「トロイメライ」、モーツァルトの「トルコ行進曲」、ショパンの「ノクターン2番」、ベートーヴェンの「月光」の1楽章の5曲をメインに弾く人生初のリサイタルです。考えただけでワクワクしてきます。その数倍ドキドキのほうが強いですが、みな様にとりましては迷惑ですね。

でも皆様、私からお誘いかけがありましたら、迷わずコンサートホールへお出かけくださいませ。きっと「私」にもできるという勇気とパワーがもらえると思いますから。